

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	組踊継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり	
担当部課名	教育部	文化課	事業実施年度	平成24 ~ 令和1年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)	
事業内容	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		H26年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	5,897	655	5,122	745	12,419	
	B. 執行済額	4,941	555	4,079	724	10,299	
	うち 交付金充当額	3,952	444	3,263	579	8,238	
	執行率(%) (B/A)	83.8%	84.7%	79.6%	97.2%	82.9%	
執行状況の説明	精算払いであるため、会議数の回数減等で予算の変動があるため、不用額が発生した。						
事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H24年度	H26年度	H29年度	H30年度	R1年度
	組踊「未生の縁」上演	目標	上演	—	—	—	—
		実績	上演	—	—	—	—
	組踊「雪払」台本復元	目標	台本復元	—	—	—	—
		実績	台本復元	—	—	—	—
	組踊「雪払」上演回数:1回	目標	—	1回	—	—	—
		実績	—	1回	—	—	—
	組踊学校鑑賞会実施校:2校	目標	—	2校	—	—	—
		実績	—	2校	—	—	—
	組踊「雪払」台本増補検討委員会の設置及び開催	目標	—	—	設置・開催	—	—
		実績	—	—	設置・開催	—	—
	組踊「雪払」上演	目標	—	—	—	1回	—
実績		—	—	—	1回	—	
上演台本の検討と編集	目標	—	—	—	—	検討と編集	
	実績	—	—	—	—	検討と編集の完了	
事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H24年度	H26年度	H29年度	H30年度	R1年度
	組踊継承者養成数(組踊「未生の縁」出演者延数)	目標	28名	—	—	—	—
		実績	244名	—	—	—	—
	組踊「雪払」出演者数:28名	目標	—	28名	—	—	—
		実績	—	23名	—	—	—
	組踊学校鑑賞会実施校:2校	目標	—	2校	—	—	—
		実績	—	2校	—	—	—
	組踊「雪払」台本増補 100部	目標	—	—	100部	—	—
		実績	—	—	100部	—	—
	組踊出演者数 23名 上演来場者数 646名	目標	—	—	—	出演者23名 来場者646名	—
		実績	—	—	—	出演者30名 来場者660名	—
	上演台本の発刊 50部	目標	—	—	—	—	50部
実績		—	—	—	—	50部	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度 目標/発現年度
	組踊「雪払」練習参加者数 20人/年		目標	20人	20人	20人	20人
			実績	0人	-	-	-
	組踊「雪払」上演		目標	-	-	-	上演
		実績	-	-	-	上演	
状況説明		【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、高齢な指導者と密集する練習は中止を余儀なくされた。その代替えとして稽古と研鑽に使用するため上演台本80部増刷した。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、集合する稽古ができない状況となった。			【R2年度】 ・集合する稽古が困難であるため、個々で練習ができるよう上演台本を増刷した。以前に上演した際の映像資料をYouTubeで視聴可能な状態にしており、練習に役立てる。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会員を集めての稽古ができない状況であり、「上演台本」を増刷した。今後は台本を会員に配布し、個々で研鑽できるようにしたい。							

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	豊見城総合公園体育施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の 形成		
担当部課名	教育部	生涯学習振興課	事業実施 年度	平成 28	～ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件、計画的な整備を推進するための検討を進め、市民のスポーツ振興及び競技力向上と観光客等の増加により地域活性化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H28年度	H29年度	H30年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	12,572	11,654	558,877		583,103	
	B. 執行済額	12,571	11,654	558,877		583,102	
	うち 交付金充当額	10,056	9,322	447,101		466,479	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	
執行状況の説明	H28年度基本計画策定・H29年度実施設計・H30年度に改修工事を実施した。陸上競技場備品購入においては、生産ラインの逼迫により納入が遅れたため29,301千円を翌年に繰越して早期に執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	○年度	
	基本計画の検討	目標	基本計画検討実施				
		実績	基本計画検討実施				
	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の実施	目標		実施設計の実施			
		実績		実施設計の実施			
豊見城総合公園体育施設機能強化計画に基づく現場技術業務委託、土木工事の実施、備品整備	目標			総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事業務の実施・備品整備			
	実績			総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事業務の実施・備品整備			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	○年度	
	基本計画の取りまとめ完了	目標	取りまとめ完了				
		実績	取りまとめ完了				
	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の完了	目標		実施設計の完了			
		実績		実施設計の完了			
総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事完了及び備品整備	目標			工事完了 備品整備完了			
	実績			工事完了 備品整備完了			

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度
	合宿誘致件数	目標	5件	5件			
		実績	7件	4件			
	利用者数等:30,000人(R2年度)	目標		30,000人			
実績			16,727人				
状況説明	<p>【R1年度】 ・スポーツ合宿誘致件数においては目標を年間5件としているが、令和元年度においては7件の受入実績となった。</p> <p>【R2年度】 ・令和2年度の合宿誘致件数は、5件中4件となっており、目標値の80%となった。 ・令和2年度の利用者数は、30,000人中16,727人となっており、目標値の55%となった。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・合宿誘致件数の受入実績が7件となっていることから、成果目標については、達成できた部分があるが、更なるスポーツコンベンション誘致推進のためには陸上競技場メインスタンドについてパラアスリートも含めた受入が行えるように整備する必要がある。 ・R1年度においては、年度末よりコロナウイルスの感染拡大が起きており、令和2年度においてはコロナウイルスのコントロールを含めた対策を講じた上での受け入れ体制の整備が必要となる。</p> <p>【R2年度】 ・目標値としていた合宿誘致件数及び利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、定期的な施設内の消毒や消毒液の設置、コロナ対策への周知等の取り組みを行ったが、利用者は減少する結果となった。 ・大会前のアスリートが当該施設を利用し、競技において好成績を残すためには、良い練習環境を提供する必要があると考える。</p>			<p>【R1年度】 ・合宿誘致を行う中で合宿受入を実施したアスリートにアンケートを実施し、更なる施設整備に反映できるように検討する。 ・コロナウイルスの感染拡大対策のための受入施設のガイドラインを作成の上、キャンプ効果が出るような受け入れ体制の整備を検討する。</p> <p>【R2年度】 ・コロナ禍の中でも陸上競技場の認知度を高める発信方法を検討する。 ・キャンプに訪れたアスリートに必要な施設整備を検討する。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 ・スポーツキャンプを行う中で合宿受入を実施したアスリートにアンケート調査を実施し、陸上競技場メインスタンドを含めた受入施設整備を検討するとともに、コロナウイルスの感染拡大防止のためのコントロールを含めた対策を盛り込んだ受け入れ体制の整備を検討する。</p> <p>【R2年度】 ・コロナ禍の中でも陸上競技場の認知度を高める発信方法として施設PRパンフレットを作成し、キャンプに訪れたアスリートへ配布する。また、過年度来県したチームへのPRパンフレットの送付を実施し、県外での認知度を高めていく。 ・キャンプに訪れたアスリートにアンケートを実施し、再度来場したくなるような施設整備に反映させる。</p>							

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	新しい公共交通システム可能性調査検討事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立		
担当部署名	都市計画部	都市計画課	事業実施 年度	平成 28	令和 元	事業実施 年度	
事業内容	市内一周線のバスルート変更後におけるバス利用状況調査、ルート再編の評価、課題の整理をすることで、将来のまちづくりに資するための上位計画及び基本方針を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	13,889	19,764	11,582	8,110	53,345	
	B. 執行済額	13,889	19,764	11,474	8,109	53,236	
	うち 交付金充当額	11,111	15,811	9,179	6,487	42,588	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	99.8%	
執行状況の説明	最終的な執行率は99.8%となっており、概ね計画的な執行となった。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	○年度
	新たな公共交通システム導入可能性の調査及び検討	目標	調査及び検討				-
		実績	調査及び検討				-
	市内一周バス再編に向けた検討	目標		調査及び検討			-
		実績		調査及び検討			-
	基幹公共交通システムの検討	目標		検討			-
		実績		検討			-
市内一周線バスの変更に向けた調査、手続き、広報作業	目標			H31年3月完了		-	
	実績			H31年3月完了		-	
バスルート再編後の事後調査、評価、検証及び課題の整理	目標				R2年3月完了	-	
	実績				R2年3月完了	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	○年度
	新たな公共交通システム導入可能性調査検討報告書の作成	目標	報告書の作成				-
		実績	報告書の作成				-
	市内一周バス再編に伴う社会実証実験計画の作成	目標		計画書作成			-
		実績		計画書作成			-
市役所移転後の市内一周線のルート変更前の利用状況の把握	目標			アンケート実施		-	
	実績			アンケート実施		-	
市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	目標				80%	-	
	実績				81%	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	目標	80%				
実績		実施見送り					
状況説明	目標						
	実績						
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、ネットを活用したアンケート調査方法を模索するも実施には至らず調査を見送ることにしたが、「市内一周線バス」のルート変更後は、令和元年10月以降から前年を上回る利用者数を確認できており、満足度は確保されていると類推される。令和3年度については、新型コロナウイルスの収束状況を見極めながら実施を検討する。 豊見城市交通基本計画のなかで「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」等の基本方針を掲げ「新しい公共交通システムの導入」等として位置付けた。 							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> R2年度については、交通事業者等が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業効果の検証(アンケート実施)を見送った。 			<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者等の関係者と連携・協働し、「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」に繋がるよう路線バスの利用環境の拡充や新しい公共交通システムの導入などに取り組んでいく。 				
<p align="center">今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)</p>							
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の交通のあり方に関する基本的な考え方を示し、移動円滑化、環境問題への配慮、地域特性や市民ニーズ、土地利用等を考慮した将来のまちづくりに資するため交通施策の上位計画として「豊見城市交通基本計画」を策定し、基本方針として「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」として位置づけた。 							

市町村名	豊見城市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	学習環境等整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-イ 家庭・地域の教育機能の充実			
担当部課名	教育部	生涯学習振興課 (中央図書館)	事業実施 年度	令和 元 年 ~ 令和 元 年 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	豊見城市立図書館において、学習スペース・研修室等を利用する児童生徒の学習環境と、沖縄の歴史・民俗資料等の保存環境の改善を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計		
	A. 予算現額	59,924				59,924		
	B. 執行済額	59,923				59,923		
	うち 交付金充当額	47,938				47,938		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		
執行状況の説明	最終的な執行率は100%となり、事業計画通りに執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	調査設計及び監理委託業務		目標	委託完了				
			実績	委託完了				
	断熱防水工事等		目標	工事完成				
			実績	工事完成				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	調査設計業務の実施		目標	委託・工事完了				
	断熱防水工事の実施		実績	委託・工事完了				
			目標					
			実績					
		目標						
		実績						

事業完了後の取り組み						
	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合(80%以上)	目標	80%			
		実績	84%			
	漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等の発生件数(0件)	目標	0件			
		実績	0件			
状況説明	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合は84%(アンケート満足度5段階中の平均値4.2)となり、目標値を超えた。 ・定期的な巡回点検を行うなどして、漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等がないか確認した結果、その発生件数は0件で目標を達成できた。 					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果では、学習環境の快適性の満足度が高く、図書館は家や塾以外で勉強出来る環境であり、自宅より図書館の方が勉強に集中できるといった好意的な意見が挙がっている。 			<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで、会議室を学習スペースとして長時間利用できるようにしてほしいとの意見が多数挙がっている。 ・防水断熱工事等による学習環境の改善は初年度が効果が高く、今後も効果を持続していくための適正な施設管理が必要である。 			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで多数の意見が挙がった会議室を学習スペースとしての利用について、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による自宅外の学習環境の制限並びに自宅における学習環境が充分でない利用者の現況等を踏まえ、第5次豊見城市総合計画で掲げた「誰一人取り残さない、優しいまちづくり」の取組みの一環として、業務に支障のない範囲で館内施設の一つである集会室を学習室として開放し、今後も利用者に対しアンケートを実施することで、ニーズの把握、分析及び検証を行い、公共施設の有効活用を図り多様化した役割に対応していく。 ・施設の管理が十分に行き届いているのかなどを職員による定期的な巡回点検を通すことで、漏水等の外部要因がもたらす民俗資料等への影響を最小限に留めるよう努める。 						